

# 「KAROSHI」英語の辞書に載っています

電通事件は他人ごとではありません

昨年、大手広告代理店「電通」で新入社員が、違法な長時間労働の末に自殺をしたというニュースをご存知の方も多いでしょう。これについては、**月100時間以上の残業**により、**過労死認定**が下されています。その後、国の強制捜査が入り、その他多くの違法残業が発覚しました。

日本では、「仕事を通して成長」 会社の利益に貢献するビジネスパーソン」 同じ職場の仲間どうしの助け合い」、このような前向きな言葉が非常に好まれ、会社もよく使用 悪用？) します。仕事熱心な社員ほど、周囲の期待に応えようというといった言葉を真に受けて、必要以上に働かされてしまうのではないのでしょうか？

世の中そんなもの、社会人として仕方ないと思いませんか？  
しかし、そこには大きな問題があります。

**私たちは一体、どれだけ長時間働いたら自分を成長させ、会社に貢献し、周囲に認められるのですか？**

そもそも、私たちは生活するために働いています。死ぬ「まで働かなければならないのでしょうか？

## 「今が良ければ」という考えの危険性

このような悲惨なニュースを見ても、自分たちには関係ない、人並みに生活できれば問題ないから、余計なことは考えずに大人しくしておこう」と考えている方も多いかもれません。

しかし、**人並みの生活を続けるのにも 考えること」 学習すること」は必要なのです。**

今後、会社が利益を上げるために人件費をどんどん削った場合、当然、一人当たりの仕事量が増え、長時間労働を余儀なくされます。過労死するまで働くのですか？そしたら、**法律は一体、何のためにあるのでしょうか？**

私たちに必要なのは、危機感を持って学習することです。自分の身は自分で守らなければなりません。

上司から「人間として成長したかったら、〇〇委員会のリーダーをして周りに差をつける！」って言われた…



自分を守るための学習を通して成長できます！



若い力

第 61 号

2016年 12月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515